

平成 28 年度 浙江省友好交流員レポート（9 月）

浙江省友好交流員 山田慶



9 月 10 日

現地時間 18 時前に上海の浦東空港に到着しました。そこで静岡県・福井県の交流員の方々と合流し、バスで浙江大学へと出発しました。左の写真は高速道路で浙江省に入るときのもので、高速道路は日本と異なり、車線が多く、一台一台の車のスピードもかなり速いと感じました。

9 月 12 日

大学近くのショッピングセンターに友人と行きました。銀泰城という名前で、海外の企業が多く参入しており、日本で見かけるお店も多かったです。しかし、値段は日本と比べて同じかそれ以上のものが多く、物価の安い中国といえども輸入品はとて高いと感じました。

大学の周辺よりも、少し離れた場所で、こうしたショッピングセンターやビルが多く、発展した風景を見ることができます。



これは、銀泰城の中にある魚を中心としたレストランです。杭州では、川魚が多く食べられるそうで、この魚はメダカだそうです。いつも日本で食べている海の魚と比べ少し生臭さはありませんが、香辛料やほかの材料で上手く味付けがされており、とてもおいしかったです。写真にあるとおり、きゅうりが一緒に炒められています。日本ではあまり見られませんが、ここではよく見ることができます。

9 月 19 日

この日からついに授業が始まりました。クラスに日本人は 1 人で、後は、アメリカやイタリアなどの欧米の方たちが大半を占め、残りを韓国の方たちが占めているという感じでした。友人の話聞く限り、ほとんどのクラスが同じような構成で、授業以外の時間は基本英語がメインの言語になるようだ。英語か中国語のどちらかができれば周りとのコミュニケーションは取りやすいのではないかと感じました。私のクラスの印象は、漢字を使わない国出身の人たちばかりでしたが、みんなどんどん中国語で話していて、圧倒されたというのが最初の印象です。これからは、その中でも自分の意見が言えるように頑張っていきたいです。